



悲嘆とグリーフケア

広瀬 寛子
Hirose Hiroko

家族、遺族、そして看護師自身のために
悲しみと共に生きることを支えるグリーフケアと
サポートグループでのつながりの物語。

医学書院

がん治療 迷いのススメ セカンドオピニオン活用術

渡辺亨・森絹江

定価 777 円(本体 740 円+税 5%)
朝日新聞出版 ☎ 03-5540-7793



「街角がん診療」を実践する腫瘍内科医と、がん患者であるライターによるコラボレーション！ ゆえに、わかりやすく、テンポよく、セカンドオピニオン活用のノウハウが語られていきます。がん治療を求める患者の4つのタイプ(情報型、解釈型、審議型、父権型)のそれぞれのタイプのうち、自分はどれに当てはまるのかを知ることが正しい治療にたどりつくカギなのだ。

新版 実践！リハビリテーション看護 脳卒中を中心に

神奈川県総合リハビリテーション事業団・
リハビリテーション看護研究会

定価 2600 円(本体 2730 円+税 5%)
照林社 ☎ 03-5689-7377



初版から10年。病院、施設、在宅において、発症直後からリハビリテーションを視座に入れた治療があたり前のものになりました。医療的ケアが在宅でも可能になってきているなか、本書は新たに「地域連携」の章を設け、脳卒中地域連携クリティカルパスの取り組みを紹介。日常生活援助の技術が、より生活に密着したものになって展開されています。

悲嘆とグリーフケア

広瀬 寛子

定価 2520 円(本体 2400 円+税 5%)
医学書院 ☎ 03-3817-5657

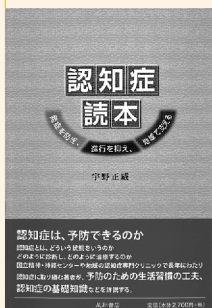
著者は、「自分たちの悲嘆を語り合う場を持っていますか？」「プロなんだから、いちいち悲しんでなんかいいられない」と、自分の感情を置き去りにしていませんか？ テスカンファレンスでは自分たちの感情を共有できているでしょうか？」と本書の序文で問いかけています。ナース・カウンセラーとして、患者や家族、看護師のカウンセリングとサポートに関わってきた著者が、経験した事例を「率直に」記述した本書。第III部「看護師自身のためのグリーフケア」は、看取りに関わるケアの専門職すべてに共通する心のケアの処方箋です。

認知症読本

発症を防ぎ、進行を抑え、地域で支える

宇野正威

定価 2835 円(本体 2700 円+税 5%)
星和書店 ☎ 03-3329-0031



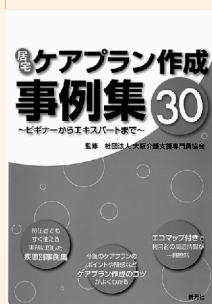
日本の認知症診療を長くリードしてきた著者は、現在も痴呆症専門クリニックで地域の人々を支えています。経験から得た知見、認知症の基礎知識と治療法、法制度、地域での支え方、予防に役立つ生活習慣の工夫など、あらゆる場面を通して、症例と研究動向を交えて解説した本書は、認知症の人を支えるケアの専門職必読の一冊です。

居宅ケアプラン作成事例集 30

ビギナーからエキスパートまで

大阪介護支援専門員協会

定価 2940 円(本体 2840 円+税 5%)
新元社 ☎ 06-6221-2600



本書の特色は「日々の業務で出会う『ぶつうの事例』を極力わかりやすく解説(「まえがき」より)している点にあります。利用者本人の系譜を記すシエノグラムと、周辺環境や関係機関等を記すエコマップは、とくに新人ケアマネジャーの助けになるはず！ 事例を的確に把握し、現行の制度を効率よく活用するための参考書です。